

# 山下俊一氏「福島市での講演後の市民との質疑応答」 福島テルサ

2011.3.21

— YouTube 動画 6分21秒 \*書き起こし文を記載

0:00 Q今の放射能測定値で外出しても問題はないのか？

山下「環境の汚染の濃度マイクロシーベルトが100マイクロシーベルト/hを超さなければ、全く健康に影響を及ぼしません。ですから、もう5とか10とか20とかというレベルで外に出ていいかどうかということは明確です。昨日もいわき市で答えました。Qいま、いわき市で外で遊んでいいですか？（山下）どんどん遊んでいい、と答えました。福島も同じです。心配することはありません。」

0:35 Q現時点での妊婦への影響はあるのか？

山下「放射線との量ですね。ですから、ある一定の量以上浴びるとやはりよくありませんが、今の現状が例えば1か月間収束しなかったとすれば、それは避難した方がいい、と思います。しかし、今の状況がここ1週間で収束すれば何ら問題はありません。」

0:58 Q洗濯物を外に干しても大丈夫なのか？

山下「洗濯物だけは答えられます。できるだけ干さない方がいいと思います、屋内退避のところは。部屋の中に干す方が安全です。20分の1~10分の1位放射性チリの付き方が違います」

1:35 Q水道水の安全性は？

山下「水道水は、問題になるのは放射性のヨウ素だけです。セシウムはフィルターで取られてゼロになりますので、たとえ少し汚染してもゼロになります。放射性ヨウ素はそのフィルターを通り抜けますから、このレベルが問題です。原則的には確かに300ベクレル/kgということで単位が出ます。各地区の水道水は定期的にチェックされていますから、それを超す場合には飲まない方がいいでしょう。しかし、ボイリングしたり、あるいは洗濯に使う分には全く問題がないし、その水は8日の半減期で拡散されてほぼゼロになります。今の放出がなければ、もう数日すると安全性が出ると思います。」

2:39 Q放射性セシウムの人体への影響は？

山下「2つめの質問、なぜ放射性ヨウ素だけなのか。セシウムもあるのではないか、おっしゃる通りです。セシウムもあります。放射性のヨウ素は半減期が8日ですが、セシウム(137)は30年です。身体に入ると60日で半分になります。エネルギーの力はヨウ素に比べると遥かに低いんですが、セシウムは必ず入ります。じゃあ、この放射性のセシウムは身体に入ったらどこに行くのでしょうか。殆ど尿に流されますが、一部身体の筋肉に入ります。筋肉。しかもそれは半減期と共に減っていきます。私たちの最大の研究成果は、放射性セシウムをずっと食べ続けたという人々がチェルノブイリの周辺に数百万人います。この(辺の)レベルどころではありません。放射性セシウムに汚染されたキノコを食べ続けたという方が沢山いるんです。20年フォローしてきて病気は何も増えていません。つまり、筋肉に少し入った放射性セシウムは半減期が身体の中で、60日で消えていきますし、ベクレルも非常に低く全く心配しないのでいいというので、今日は放射性セシウムの話はしませんでした。」

4:57 Q内部被ばくと外部被ばくについて？

山下「内部被ばくの方が10分の1、そのぐらいリスクは少ないです。でも、それも外部被ばくと同じような基準で議論します。2つのスタンダードを作ると混乱しますから、内部被ばくも外部被ばくと同じように基準を作っています。ですから今の基準は幾重にも安全に厳しく作っているというふうに考えてもらっていい、と思います。」

5:26 Q 土壌や食べ物が安全になるのはいつか？

山下「土壌の汚染で最も重要なのは半減期が30年のセシウム137です。これが消える間、あるいは安全になるレベルということが安全基準の評価になります。食べ物については基準以下になったらもう議論する必要は全くないと思います。それは農林水産省と厚労省が両方で決めると思います。」6:21